2026年10月29日

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
（ 2026年12月　検針分　）

2026年7月 ～　2026年9月　のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2026年12月 検針分の単位料金は、2026年11月　検針分 に比べて、1㎥(45MJ)当り
8.69 円(消費税込)、標準家庭(26㎥)では月額　226　円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金　（消費税込）

	単位	(A) 2026年11月	(B) 2026年12月	(B)-(A)
A料金表 (0㎥～24㎥)	円／m^3	279.47	288.16	8.69
B料金表 (24㎥を超える)	円／m^3	220.41	229.10	8.69

●平均原料価格

	単位	2026年6月 ～ 2026年8月	2026年7月 ～ 2026年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	106,660	116,780	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円／トン	117,090	111,220	
平均原料価格	円／トン	107,640	117,000	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0．9541＋LPG平均価格×0．0502　（10円未満端数四捨五入）

原料価格変動額　＝　平均原料価格　－　基準平均原料価格　（平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき）
＝　117,000　－　46,100　＝　70,900　円/トン
（100円未満端数切捨て）

●調整単位料金の算定
平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
調整単位料金　＝　基準単位料金　＋　0.084×原料価格変動額÷100円×(1＋消費税率)　（小数点第3位以下の端数切捨て）

	単位	(A)　基準単位料金	(B)　2026年12月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)－(A)
A料金表 (0㎥～24㎥)	円／m^3	222.65	288.16	65.51
B料金表 (24㎥を超える)	円／m^3	163.59	229.10	65.51

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(㎥)	(A) 2026年11月	(B) 2026年12月	影響額 (B)－(A)
26	7,901	8,127	226

計算式･･･基本料金(税込)＋調整単位料金(税込)×使用量　(1円未満の端数は切り捨て)

筑紫ガス株式会社